



導入事例

# 迅速かつ大規模な自動化導入により、**毎月 \$635,000 の節約を実現**

## 組織概要

Granite社は、北米全域の企業に最新の通信/テクノロジーソリューションを提供しています。

## 結果

# \$635,000

月間コスト削減額

# 15,000

月間時間削減数

# 80 以上

9ヶ月で導入した自動化の数



最初の9ヶ月で80を超す自動化を導入できました。

Paul Kostas 氏

戦略的インフラストラクチャ管理担当 VP





## 課題

Granite 社は 2021 年、5 年以内に恒久的なソリューションに移行することにコミットし、機能を自動化するための一時的なソリューションとしてインテリジェント オートメーションの検討を開始しました。複数の異種システム間の点と点を結びつけ、従業員の手作業による負担を軽減するために、早期に成果をいくつか上げる必要がありました。従業員ができるだけ早く自動化ツールを習得できる環境を整えたいと考えており、オートメーション サクセス プラットフォームがその解決策となりました。

## ソリューション

Granite 社のオートメーション センター オブ エクセレンス (CoE) チームは、わずか 8 週間で Automation Anywhere University を修了し、最初の事例を自動化しました。最初の事例として選択したのは、普通の企業なら決して選択しないような複雑な内容だったと、戦略的インフラストラクチャ管理担当 VP の Paul Kostas 氏は述べています。しかし、その野心的な事例が成功したことで、Automation Anywhere を使用すれば、当初の予想よりも多くの成果を達成できると確信しました。9 ヶ月以内に 80 を超す処理を自動化しましたが、そのうち 10 件は、オートメーション サクセス プラットフォームで自社開発したものです。

## 自動化した工程

- 請求書処理
- ビジネス見積書の処理
- 新規雇用
- 回収の調整
- 請求レポートのカスタマイズ
- 現場技術者の勧誘

“ 自動化により、インテリジェント オートメーションに適している業務の負担が軽減されたことで、Granite 社のチームは戦略的で興味深い施策に注力できるようになりました。

**Paul Kostas 氏**  
戦略的インフラストラク  
チャ管理担当 VP

## 事例の概要

インテリジェント オートメーションに対する Granite 社の手法における重要な差別化要因は、社内にいる特定分野のエキスパート (SME) からなるチームを直ちに結成し、彼らの視点に沿って CoE を自動化する価値のある事例へと導いたことでした。これらの SME 達は、プロセス ディスカバリーと文書化の主要な推進力となりました。Bot の開発を請け負うサードパーティ パートナーを導入したところ、SME は効率的に課題や情報を変換し、工程を効率化することができました。

Granite 社で現在稼働している自動化には、業務見積もりチームの文書処理、回収チームの売掛金照合、全国の現場技術者の募集、顧客向けの請求レポートのカスタマイズなどがあります。見積書に関する別の自動ワークフローでは、Automation Anywhere Bot、Google Cloud Document AI、Granite ヒューマン インザループの間で調和の取れたバランスが取られています。請求書は一晩でバッチ処理され、データが読み込まれ、抽出され、スプレッドシートに追加されます。人間は、朝にその出力を確認するだけです。

全部で 80 以上の工程を従業員とともに稼働させ、毎月 \$635,000 の手作業時間を節約しています。自動化を利用することで、より付加価値の高い仕事に集中する時間を確保し、本当に自分が力を発揮できるプロジェクトに時間を割くことができるようになったと従業員は語っています。従業員がデジタルの同僚を受け入れていることは、彼らに名前をつけて楽しんでいることにも表れています。Betty、Barbara、Billy は、彼らの大切なデジタルの同僚なのです。

従業員がやる気になったことで、事例のパイプラインも加速しています。当初は CoE が自動化の機会を「プル」していましたが、今では従業員が自動化の要望を「プッシュ」するようになりました。

## 今後の展望

今年初め、Granite 社はフェーズ 2 の取り組みの一環として、既存の工程を改良および強化するために、新しい自動化の展開を一時停止しました。展開を再度強化したことで、Granite 社の自動化はまもなく 100 を超える見込みです。また、複雑なエンドツーエンドの工程の自動化に重点を置きながら、さらなる成長を目指しています。Automation Anywhere の力をより多くの人の手届けたいと考え、Granite は拡大に取り組んでいます。CoE の少数のメンバー以外にも社内展開を拡大するために、同社はすでに市民開発者の活用を検討しています。

### Automation Anywhereについて

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタル ワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、下記ホームページ、もしくはメールアドレスからお申し込みください。

Automation Anywhere  [www.automationanywhere.com/jp](http://www.automationanywhere.com/jp)  [contact\\_japan@automationanywhere.com](mailto:contact_japan@automationanywhere.com)

 [@AutomationAnwJP](https://twitter.com/AutomationAnwJP)  [www.facebook.com/AutomationAnywhJP](https://www.facebook.com/AutomationAnywhJP)

Copyright © 2024 Automation Anywhere, Inc. Automation Anywhere, A のロゴ、Automation 360、AARI、A-People、IQ Bot、Bot Insight は、米国およびその他の国における Automation Anywhere Inc. の商標・サービス マーク、または登録商標・サービス マークです。本書に記載されるその他の製品および会社名は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。